

令和8年度

第1回

# 学校関係者評価委員会報告書

於：令和8年7月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

# 第1回学校関係者評価委員会 報告書

日 時：令和8年7月28日（水） 13：30～16：00

場 所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：美容用品商業組合員（今井物産代表） 五味 寛雄先生  
有限会社エポンジュ代表 上原 竜夫先生  
小原校長・桐山事務局長・小口教務主任

○小原校長より

今年度より新体制でスタートします。引き続き職業実践認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていけるために、第三者評価を参考にさせて頂き、学校からの情報の発信もしていきたい。

今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

## 【議題】

### 1. 令和8年度第1回自己評価委員会報告

令和8年度中間報告として、教育理念の1項目・学校運営の3項目・教育活動の3項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の1項目・学生募集と受け入れ2項目・法令等の順守の2項目・社会貢献1項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。また、評価4から評価3に下がった理由についても説明を行った。公平な評価を今後も継続していくべきである。

## 今後の課題

- ① 学校管理システム導入→今年度より単位制導入によりシステム化を導入し、運用しはじめている。  
課題が多くあるため、業者と打ち合わせをしながらすすめていく。  
書類の形式等、両校統一していく。
- ② 国家試験学科対策の強化→学生指導の難しさはあるが、対応方法を考察し学年ごとの情報共有を強化  
外部講師とも協力体制を取りながら、学科対策を強化していく。  
2学期より、ドリルを実施。教科書ポイントマーカー継続していく。
- ③ 学生募集方法の工夫→今以上により効果的な学生募集になるよう情報収集していく。  
学園HPリニューアルを業者と打ち合わせながらすすめていく。  
中学生職場体験が効果的である。開かれた学校としての魅力を発信していく。  
簡易的なパンフレットまたはチラシを作成。  
卒業生、学校支援サロンの有効活用方法を検討していく。
- ④ 教員募集について→質の高い教育を学生に提供するため、継続して人材募集をすすめていく。  
学園HPに教員募集ページ作成。

（基準1）**総括** 令和8年度4月施行となる、教育法の一部改正に伴う「単位制」導入等の学則変更を行い、新1年生より欠席授業に関する補習形式等、単位取得となる受け入れ態勢を整えた。

- ・令和8年度4月施行となる教育法一部改正に伴う事項に関連した、学生管理システムの導入を1学年より取り入れた。2年生については法改正以前の制度による現状維持としている。

## 学校関係評価委員コメント 五味委員より

単位制導入は学校としてメリットはあるのか？→専門学校として社会的地位向上につながる。

## 学校関係評価委員コメント 上原委員より

学校教育法改定により、今以上に質の高い学校になると良い。

## 今後の改善方策

新しいシステム構築のため、引き続き努力していく。

(基準2) **総括** 令和8年度4月より施行となる、文科省「学校教育法の一部改正」に関する学則変更手続きを行い、合わせて学生指導内規等の変更を行った。

- ・2026年度4月より、美容科教員1名・理容科教員1名・計2名の教員を採用した。
- ・令和8年度における主な学校行事（ヘアフェス、ヘアショー、修学旅行）の予算、実行計画を整えた。
- ・令和8年度 美容科教師1名が6月より「美容理論・実習」の教育センター研修に参加した。  
(オンデマンドリモート460分間、対面講義10日間)
- ・令和8年度4月施行となる文科省による「学校教育法の一部改正」に関する改正項目と連動させながら、成績管理システムを新1年生より導入した。
- ・2年生においては、現状維持のままとし、令和9年度に全学年の導入を予定している。

学校関係評価委員コメント 五味委員より 適切に行われている。

学校関係評価委員コメント 上原委員より

人材不足は、サロンでも問題となっている。特に、フリーランスになる美容師が増加傾向であるが、結局上手いかず、サロンへ戻っているケースもある。

今後の改善策

教員育成のモデルケースとして、今年度理容科教員助手として、育成している。ダブルライセンス取得者でもあり大切に育てていきたい。

(基準3)

- ・長野校、松本校の教職員研修の充実を図り、模擬授業等を活用して、授業評価の取り組みとしていく。
- ・令和8年度4月より美容科1名、理容科1名の教員を採用した。
- ・令和8年度4月より施行となる、文科省「学校教育法の一部改正」に関して令和8年度入学生より新たな「専門士」に関わる教科単位制を導入した。
- ・授業欠席に係る「補習課題」「補習授業」の取り組みについて、嘱託講師の理解を得ながら進めることが出来ている。
- ・相乗効果として、学生の授業参加に対する意識の向上し、欠席日数の減少傾向が見られる。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

データ化により、学生、保護者、学校が情報を共有できるということはとても良い。

学校関係者評価委員コメント 上原委員より

マツビのアットホームな雰囲気は魅力。学生一人ひとりに向き合っている学校として継続していくべきである。

今後の改善方策

単位制となり、システム化導入により、1年生の遅刻・欠席が減少した。保護者との連絡もスムーズに行えている。

(基準4)

- ・本年度計画されていた、5月と6月の就職ガイダンスを県内からのサロンが来校して実施された。  
令和7年度第53回理容師美容師国家試験結果  
理容科受験者 6名 不合格1名（実技・学科）合格率83.3%  
美容科受験者 70名 不合格10名（学科）合格率85.7%
- ・学科試験対策を課題として、改善を図る。特に理美容技術理論の苦手意識を克服できる学習指導に取り組んでいる。
- ・令和8年度休学、退学者人数（令和8年度6月末現在） 休学者 美容科2年生1名（友人関係の要因）

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

国家試験合格率については、あきらめずにやっていくしかない。学生に寄り添っている学校であるから、大丈夫では。

学校関係者評価委員コメント 上原委員より

マツビの良さは、アットホームな部分である。このまま継続してほしい。

今後の改善方策

国家試験合格率を上げるため、学習方法の工夫を継続していく。教科書マークやドリルを今後実施していく。  
引き続き、全員国家試験合格を目指していく。

### (基準5)

- ・年間計画に沿って、5月と6月に在校生を対象とした、就職ガイダンスを実施した。
- ・令和8年度7月現在（重複支給有り）
  - ① 「給付型奨学金」1年生21名、2年生42名、計63名-30.6%
  - ② 「学生支援機構奨学金」1年生31名、2年生28名、計59名-28.6%
  - ③ 「多子世帯奨学金（暫定）」1年生9名、2年生23名、計32名-15.5%
- ・学校医を「塩原医院」から「河野外科医院」に令和8年度より変更した。
- ・2年生を対象とした「健康診断」を5月に実施した。
- ・校内インフルエンザ予防接種の計画を、11月を目安に進めていく。
- ・令和8年度学生寮人数  
女子寮：24名（1年生11名、2年生13名）  
男子寮：10名（1年生3名、2年生7名）
- ・今後の学生寮に関する運営については、学園3ヶ年計画の課題として、遠方からの入学動機を視野に入れ、より効率の良い方策を検討していく。
- ・職業実践専門課程に関する授業の講師として、卒業生の講師依頼を推進している。引き続き、卒業生の教職員希望者を募り、新規教員確保につなげていく。

#### 学校関係者評価委員コメント 五味委員より

寮を維持していくむずかしさはあると思うが、学生支援という点では魅力的では。在り方は検討していくべき。  
卒業生がたくさん活躍しているので、継続して上手く活用していったほしい。

#### 学校関係者評価委員コメント 上原委員より

流行も大事だが、基礎がしっかりしている学生を引き続き、育成していったほしい。

#### 今後の改善方法

寮維持の難しさもある。今後検討していきたい。住宅支援という形式も含め。  
在校生満足度に重点をおき、生徒たちを支えていける存在になるよう、前向きに改善していきたい。

### (基準6) 令和8年度より学生管理システム（ブレンド）の導入を1年生から始めた。

- ・4月地震を想定した防災訓練を行い、緊急時の対象法、避難経路の確認を行った。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より 適切に行われている。

### (基準7) 総括：令和8年度学生募集について、松本校においては厳しい結果となった。

要因：大学・短大進学率の向上 県外への流出 少子化の影響

説明会において本校の特色となる国家試験合格率、資格試験合格率、就職率は100%を掲げている。

また、伝統校としての手厚い教育は引き続き、本校の魅力である。そのためには教員数の充実も含め、より魅力ある学校にしていく必要がある。

卒業生の活躍情報、在校生の声、学校支援サロンとの強い協力体制を軸に、資格取得のみでなく、即戦力となる人材育成が出来る学校であることをアピールしていく。

学生募集において、オープンキャンパスが最終決定の要となるため、内容をより興味を持ってもらえるよう引き続き工夫していく

#### 学校関係者評価委員コメント 五味委員より

大変な時代である。学校の在り方が変化していくときである。時代に合わせていかななくてはならないが、本校の良さは変わらないでほしい。  
県外へのアプローチとして、名古屋・新潟方面にどんどんマツビを売り込むべきである。

#### 学校関係者評価委員コメント 上原委員より

学生募集の大変さは理解している。業界として協力はいくらでもします。（職業体験等）  
地元の学校でも、東京有名サロンに就職できることをもっとアピールしても良いのでは。  
→就職内定情報をもっとチラシ等でつたえても良い。

#### 今後の改善方法

今の学校としての魅力は強みとしつつ、時代に合った学生募集を工夫しながら行っていきたい。  
県外流出を防ぐため、本校卒業生の活躍や就職先情報をもっとアピールしていく。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

- ・令和8年度入学式において、入学生名簿の写真を保護により投稿されたことにより SNS 上で批判が集中した。改めて、学生名簿の管理と SNS における注意喚起を明確に伝えるように対策を強化していく。
- ・令和8年度、学校関係者評価委員2名、教育課程編成委員2名の構成員の変更を実施した。

学校関係者評価委員 五味 寛雄 氏 (美容商組合委員)  
上原 竜夫 氏 (美容室経営者)  
教育課程編成委員 須澤 知史 氏 (人財関連業 取締役)  
矢島 通弘 氏 (卒業生、美容室経営者)

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

#### 今後の改善方法

自己評価をすることで、学校教育内容等を見直す良い機会となっているので、継続してより良い魅力ある学校にしていきたい。第3者評価となっていく時代である。引き続き協力お願い致します。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

- ・7月「浴衣イベント」における、「ヘアとネイル」に係る学生を募り、浴衣ヘアセット3名、ネイル2名、計5名の学生が参加する。
- ・本年度で5年目となる「いろいろなお仕事体験会」を7/1～11/30まで開催する。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

#### 今後の改善方法

いろいろなお仕事体験好評である。継続していき、マツビ魅力を伝えていきたい。

## 2. 重点目標について (別紙1・2参照)

### (1) 令和8年度重点目標実施中間報告

中間報告として、現時点で令和8年度重点目標の実施状況の報告

- 重点目標① 意識を前に向けて、早めの行動の実践
- 重点目標② 嘱託講師、外部講師との連携強化
- 重点目標③ 教師と学生との距離感を意識する

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

時代の変化に合わせつつ、マツビの良い特色を活かし、学習環境を整えながら進めていってほしい。変革の時である。

学校関係者評価委員コメント 上原委員より

卒業生がたくさん活躍しているので、上手く活用してマツビの良さをもっと伝えていってほしい。  
→模擬実習室をサロン形式として、シャンプーの授業等実施しても良いのでは。いくらでも協力します。  
職場体験がすごく効果的だと感じている。→お仕事体験のカードと学校パンフレットをサロンに置いてくれる。

#### 今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的策を協議しながらすすめていく。
- ・重点目標に沿って、評価4を質の高い内容にするべく、努力していく。

## 3. 次回予定

令和8年度 第2回学校関係者評価委員会 令和9年2月17日(水) 14:00～